

定例記者会見

令和5年4月5日(水) 13時30分

福岡市感染症概況等

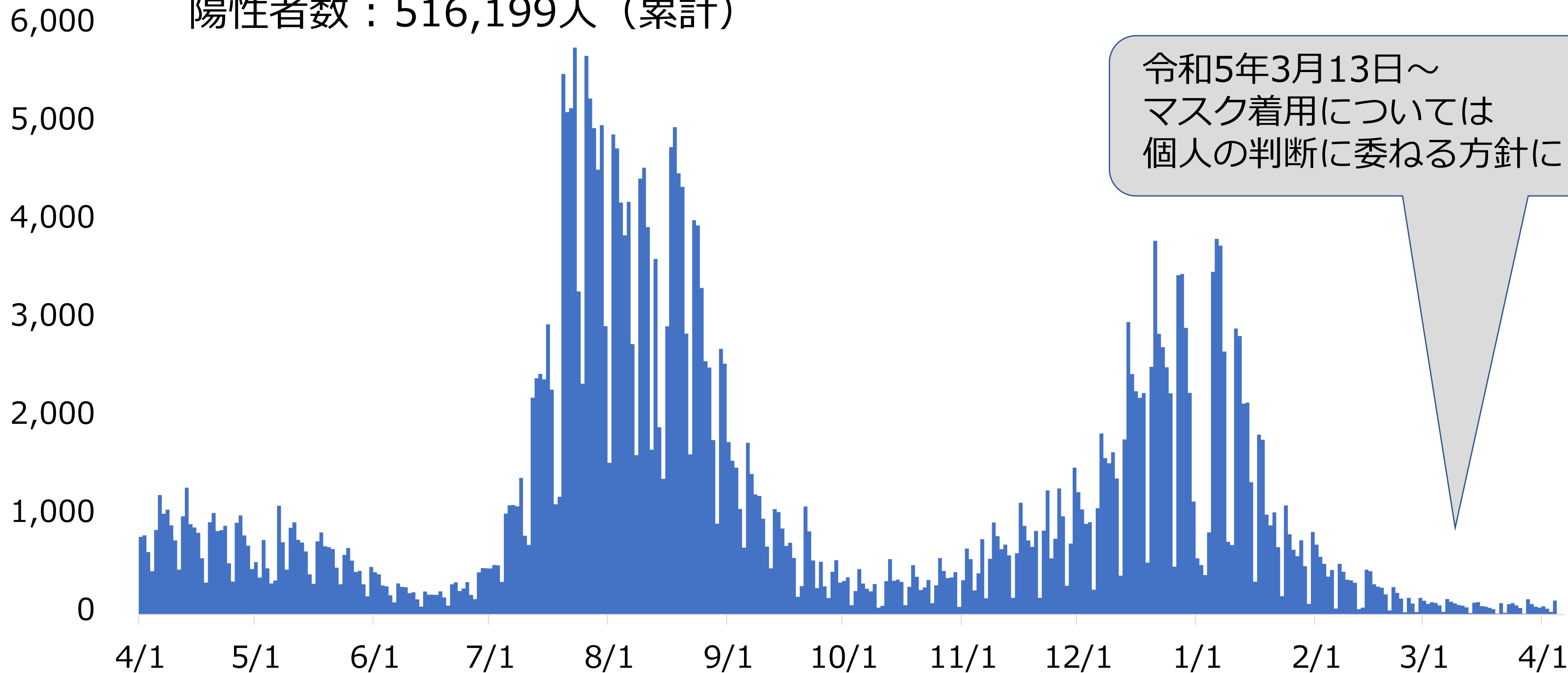
福岡市医師会 会長 平田 泰彦



1.福岡市内 新型コロナウイルス患者発生状況

R5.4.4 現在

陽性者数：516,199人（累計）

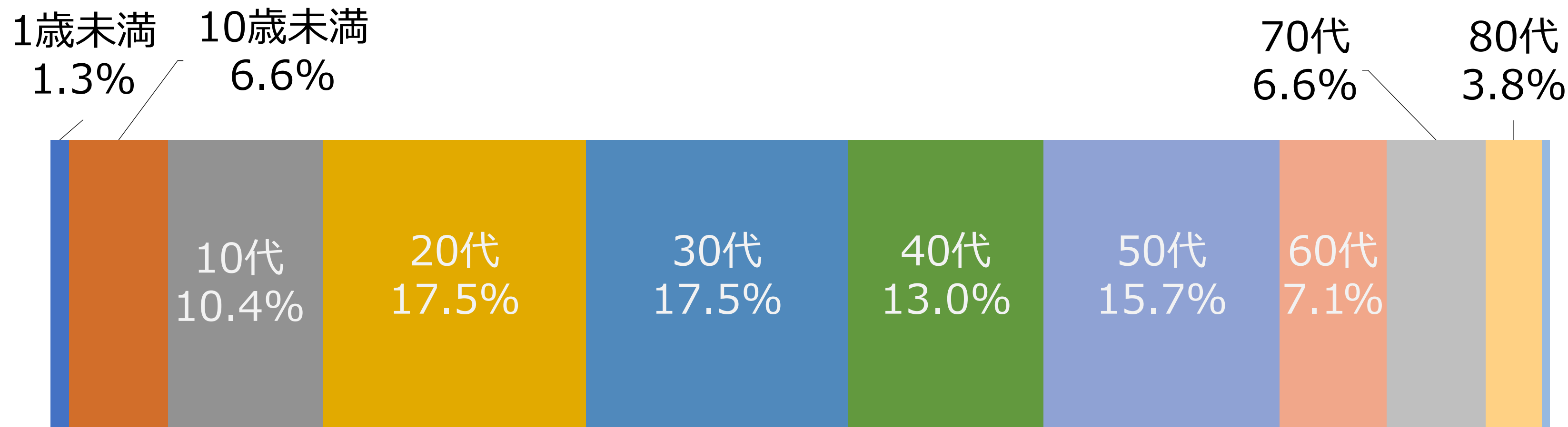


2.新規感染者数の動向（福岡市）

令和5年3～4月							
日	月	火	水	木	金	土	
3/5	6	7	8	9	10	11	
92	25	156	128	111	97	88	
12	13	14	15	16	17	18	
71	14	119	125	84	79	67	
19	20	21	22	23	24	25	
53	8	114	16	104	114	92	
26	27	28	29	30	31	4/1	
66	7	154	105	78	69	83	
2	3	4	5	6	7	8	
58	26	141					

※赤字：前週と比較し増加

3.年代別感染者（福岡市）の内訳



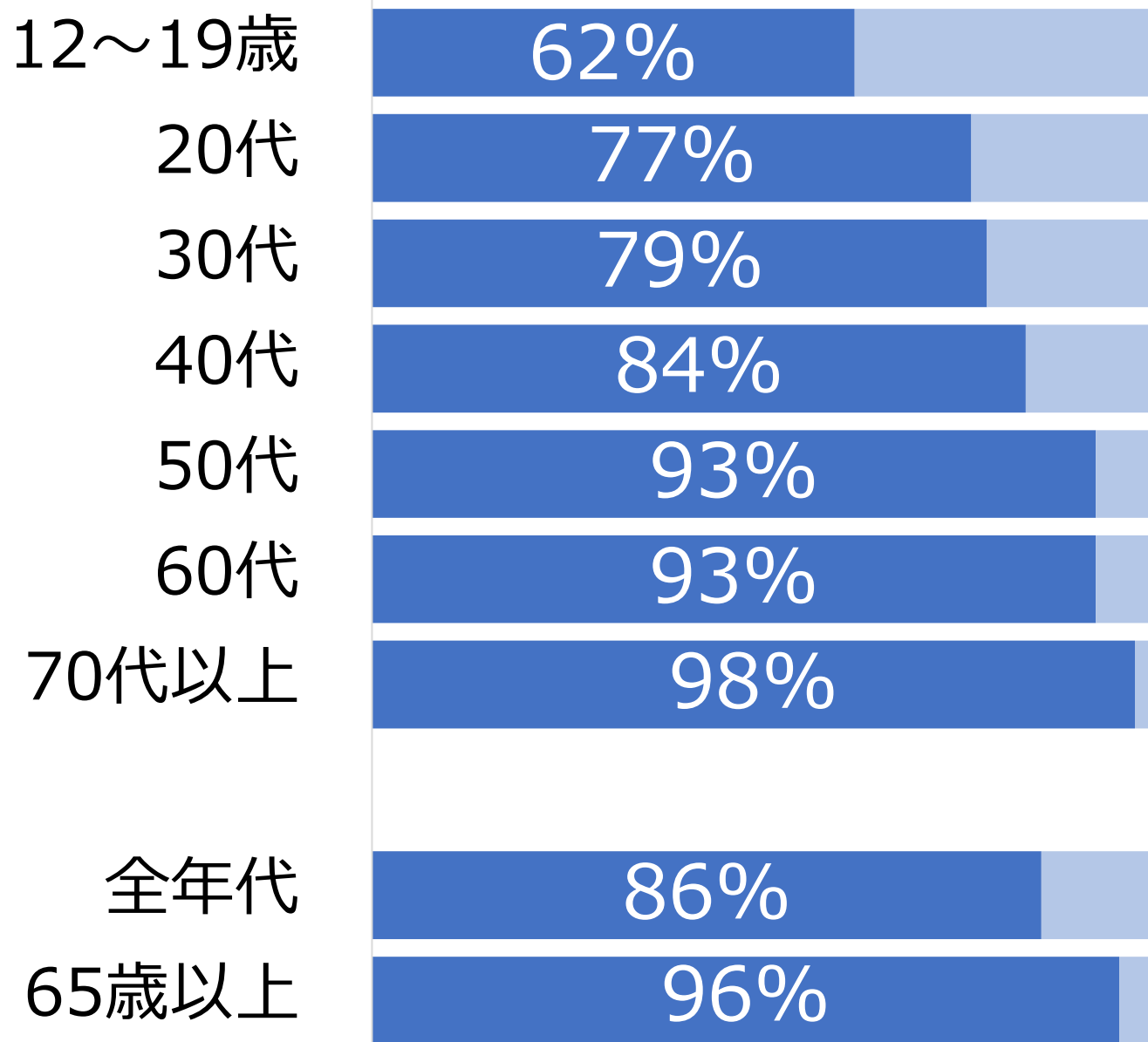
新型コロナウイルス感染者のうち70代以上の割合(福岡市)

第7波ピーク時(7月25日～ 7月31日)	: 6.5%
第8波ピーク時(12月19日～ 12月25日)	: 7.0%
直近1週間 (3月29日～ 4月 4日)	: 10.9%

福岡市HPを元に作成 令和5年4月4日時点

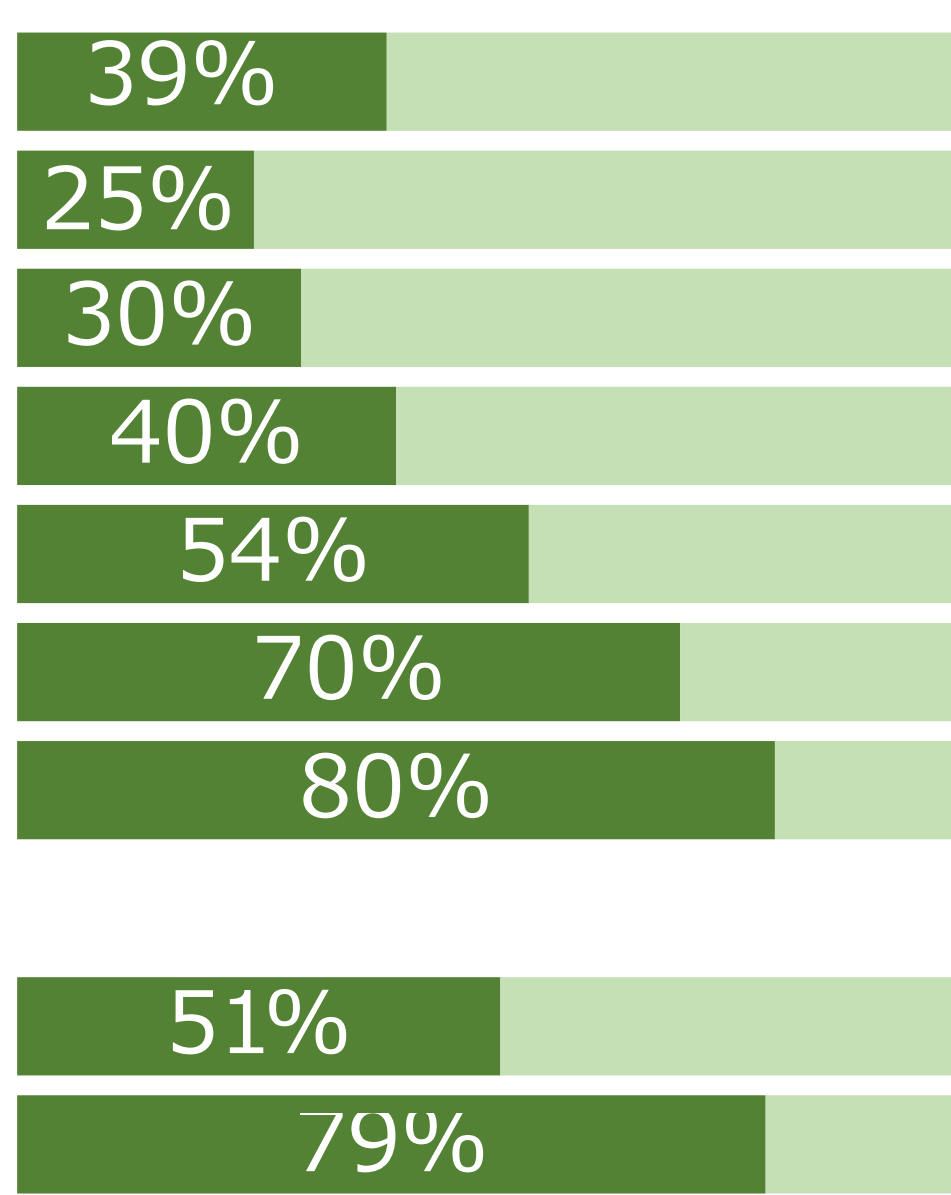
4. ワクチン接種状況

2回目ワクチン
(福岡市)



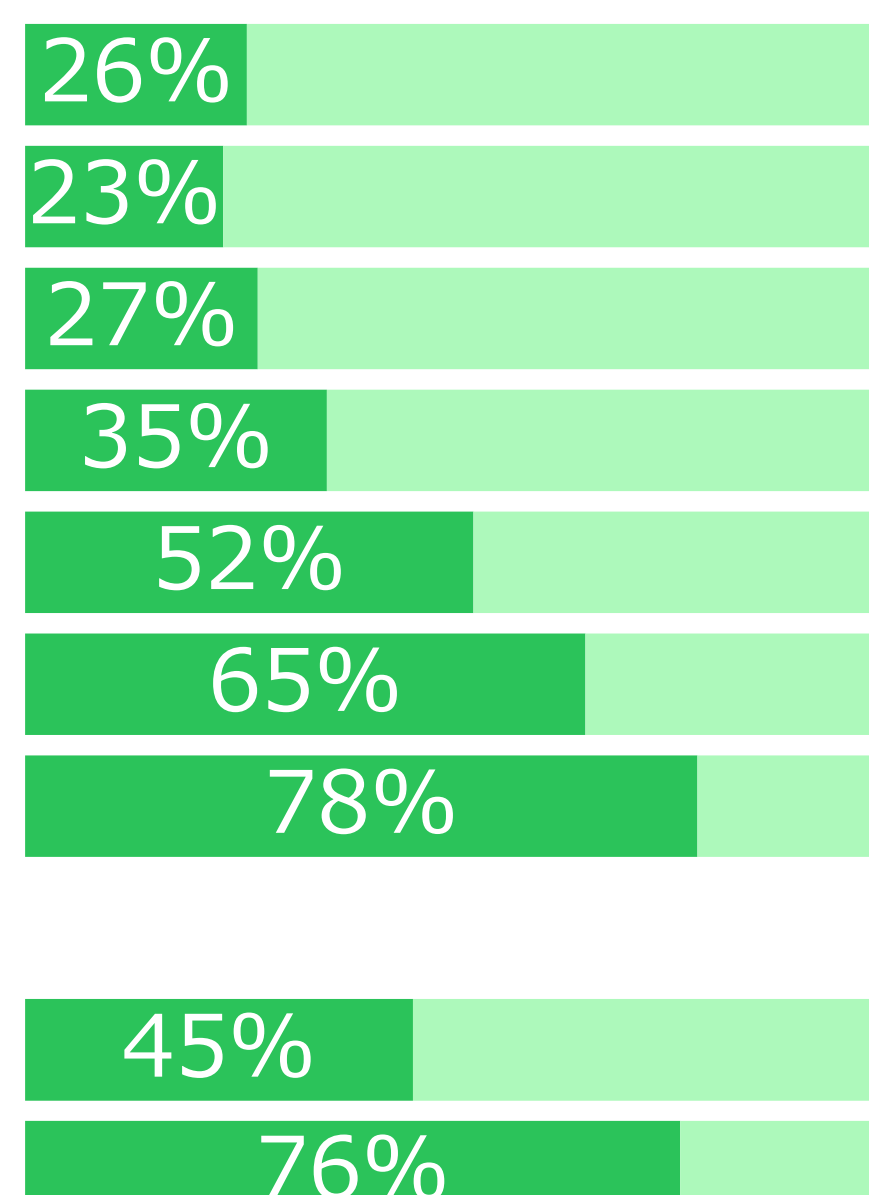
令和5年3月27日時点

オミクロン株対応ワクチン
(福岡市)



令和5年3月27日時点

オミクロン株対応ワクチン
(全国)



令和5年4月3日時点

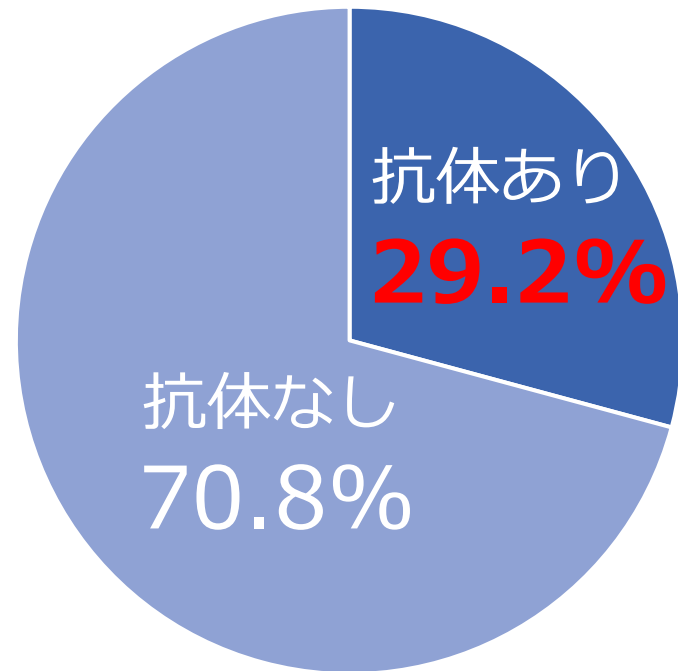
■ ■ ■ 接種済

福岡市・内閣官房内閣広報室統計を元に作成

5. 新型コロナウイルス抗体保有率

抗体保有率(福岡県)

令和4年11月調査結果

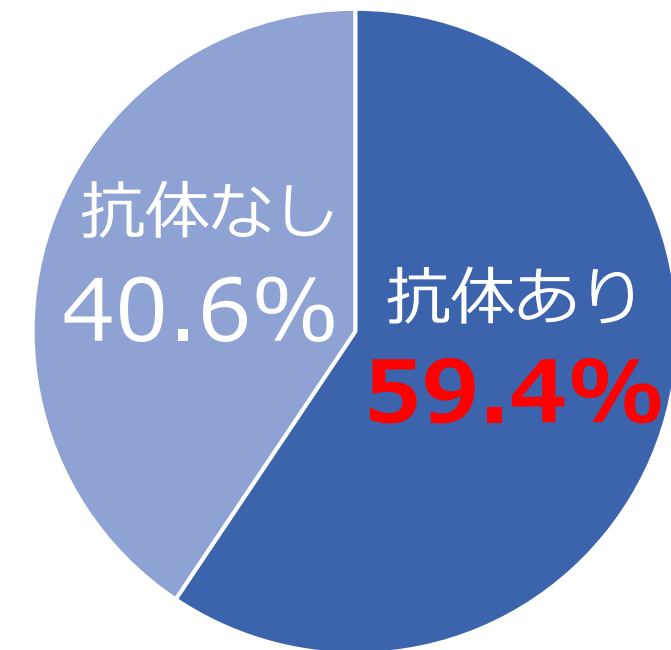


11月1日時点
累計感染者数
1,370,242人
(人口の**26.8%**)



約2倍

令和5年2月調査結果



2月1日時点
累計感染者数
1,563,827人
(人口の**30.6%**)

福岡県人口 5,110,516人

年代別抗体保有率(全国)

16~19歳



20代



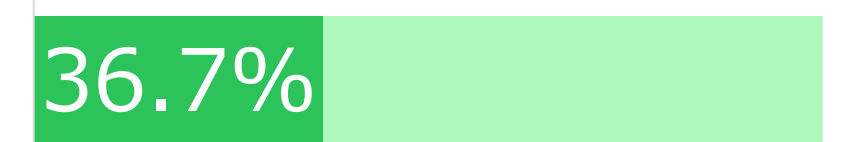
30代



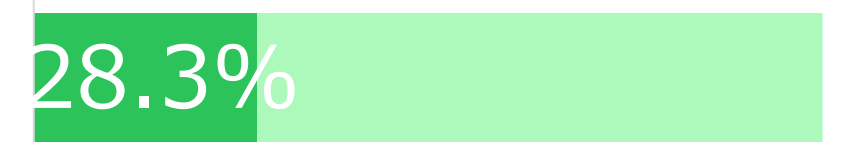
40代



50代



60代



0%

50%

100%

厚生労働省・福岡県調査結果を元に作成 令和5年2月時点

6. 今後の感染動向と対策

○今後の感染動向

- ・ 5類移行後もウイルス自体がなくなるわけではなく、今後とも変異を重ね感染力が強くなっていく可能性
- ・ 今後とも症状が軽い若年層の間でまん延し感染拡大のリスク
- ・ 高齢者の抗体価が急速に低下し、高齢者の感染拡大のリスク
⇒医療機関や高齢者施設での**クラスター発生リスク増**

○今後の対策

- ・ **ワクチン接種**や**感染予防行動の徹底**により、高齢者等重症化リスクの高い方を守るとともに通常医療の確保が必要
- ・ 高齢者・重症化リスクの高い方に適切な医療を提供するための**保健医療体制の強化・重点化**に引き続き取り組むことが必要
- ・ 特定の医療機関だけでなく、**できるだけ多くの医療機関で診療を受けたり、入院できる体制**を整えることが必要

7. 高齢者施設等における対応

	新型コロナウイルス5類移行後
感染対策	<ul style="list-style-type: none">・ 感染対策の徹底、希望者に対する新型コロナウイルスワクチンの接種・ 陽性者が発生した場合の周囲の者への検査や従事者への集中的検査
医療機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none">・ 新型コロナウイルス感染症患者等が発生した場合における相談、往診、入院調整等を行う医療機関の事前の確保・ 高齢者施設へ看護職員を派遣する派遣元医療機関等への補助
療養体制の確保	<ul style="list-style-type: none">・ 施設内療養を行う施設等への支援の実施・ 緊急時の人材確保や施設の消毒・清掃に要する費用等の補助
退院患者受入促進	<ul style="list-style-type: none">・ 退院患者の受入促進のための介護報酬上の特例

厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について（ポイント）」より

8. マスク着用の考え方

- 令和5年3月13日以降、着用は個人の判断に委ねる

着用	有症状者、陽性者、同居家族に陽性となった方がいる方が通院などでやむを得ず外出する時
着用を推奨	医療機関受診時
	医療機関・高齢者施設などを訪問する時
	混雑した電車・バスに乗車する時
着用が効果的	高齢者・基礎疾患を有する方・妊婦など重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

厚生労働省HPより作成

令和5年4月5日時点

9.福岡市医師会が考える「かかりつけ医」

単独の医療機関で一人の患者さんを診るのではなく、地域の診療所や病院のかかりつけ医が、昼間は他の診療所や病院と連携し、休日夜間の急変時は福岡市の救急医療体制（急患診療センターや救急告知病院等）のなかで、また在宅医療医会や多職種と連携し、地域包括ケアシステムの中で **「面で支える」**

個別の医療機関の機能とともに医療機関間の連携を強化し、地域全体としてかかりつけ医機能の発揮を目指す
かかりつけ医も自らの技能を磨く必要があります



10. 市民の皆さまへのお願い

○新型コロナウイルス感染対策

- 5月の大型連休等で人出が増加し感染拡大の恐れがあるため、基本的な感染対策とワクチン接種の検討
- 体調不良時はセルフチェックを行い、陽性で症状が軽い場合はかかりつけ医や行政の相談ダイヤルへ連絡・相談
- マスクの着脱については、重症化リスクの高い人への感染を防ぐため、医療機関や高齢者施設等ではマスクを着用するなど状況に応じて判断
- 医療機関や高齢者施設等を訪問する前は体調管理をしっかりと行い、必要があればセルフチェック

